

ご注文は下記記載の上、FAX:03-5357-1701 までお願いします。

**8月3日配本予定 好評予約受付中!**

# 学校という「ハコモノ」が 日本を救う!

**元文科大臣・石川県知事の馳浩氏も大絶賛!!**

「目から鱗の書!! 学校をハコモノと考えて活用すれば、日本の子どもたちには、途轍もなく明るい未来が訪れる!!」



## 【内容】

日本の公立学校は小学校だけで約2万校。その多くが人口密集地に集中し、全国各地に存在している。しかし、その充実した施設群は、1年のうち170日間も活用されていない。そこで学校を、教員免許を持った教師だけの聖域とせず、地域の共有資産としての「ハコモノ」と考え、塾やスポーツ系企業、警備会社などの民間事業者に運営参入してもらおう。すると地域の高齢者やボランティアが集う、まさに地域の「中核」に生まれ変わる!

そしてそこは、「教育格差」や「孤食」を解消する、子どもたちの憩いの場所になる!!

これは絵空事ではない。なぜなら、この手法は既に日本各地の刑務所の運営に使われ、成功しているシステムを踏襲しているからだ。官民連携の教育、そのために活用すべき学校という「ハコモノ」の可能性を、世界の事例も交えて全ての教育関係者、自治体関係者に問う、渾身の書!!

**四六判並製 208頁 1,980円(込) 全国紙広告掲載予定!**

**【著者】大竹弘和(おおたけ・ひろかず)**

神奈川大学人間科学部教授。総合システム研究所(株)代表取締役。  
1955年、東京都新宿区生まれ。筑波大学大学院修了。スポーツ庁スポーツ施設ストック適正化検討委員、経済産業省・スポーツ庁の多様な世代が集うスタジアム・アリーナ選考委員、長野県「県立学校学習空間デザイン検討委員会」などの公職や、スポルテック実行委員、横浜メディアビジネス総合研究所顧問など務める。2017年に「地域交流デパートメント構想」を発表、学校という「ハコモノ」を活用するPFI事業展開を提言中。



\*ご注文は下記記載の上、ファクスでお願いいたします。お支払いは商品到着後銀行振込となります。

ご注文	【お名前】	【電話番号】
	【お届け先住所】	
冊	●御請求書を送付いたします。●送料別/11冊以上で送料は無料となります。	